

今年も大盛況！

高時紅葉まつり

2025.11.22



秋の恒例「高時紅葉まつり」が、秋晴れのもと開催されました。鶏足寺へ向かう観光客の客足が徐々に増えだすと、『高時名物けんちん汁』の看板に足を止めたり、地元で採れた柿や、炊き込みご飯などを購入する人で賑わいました。前日から有志メンバーが仕込んだけんちん汁は、味もボリュームも満点で今年も大人気！！具たくさんでお腹も満たされ、お昼を過ぎた頃には早くも完売となりました。

紅葉観光客へのおもてなしとして、オオサンショウウオの学習発表や高時マイベースなどを披露した高時小学校の児童・時っ子たちにも、けんちん汁を振る舞いました。観光客や保護者を前に、堂々とした姿で学校で学んできたことを伝える姿はとても格好よく、まさに地元の誇り。そんな大しごとを終えた時っ子たちが、「おいしい〜！」と笑顔になって完食してくれてとても嬉しかったです！来年度の紅葉まつりは、すでにスタートしている【北近江豊臣博覧会】の会期中の開催になるため、歴史や自然豊かなこの景観を求めた人で賑わう年になりそうです！！



今年度もかえた新たなメンバーとともに高時を盛りあげています！



この日第一号のお客さんをパチリ



湖北の自然にふれる 野鳥観察会開催



しました！

11月24日に湖北町今西にある「湖北野鳥センター」で野鳥観察会を開催しました。担当の学校部会では、毎年秋に高時小学校で星空観察会を開催してきましたが、今年度は高時を飛び出し、私たちが住むこの湖北の自然に触れてみては、と企画されました。

当日は大人・子どもを合わせて20名ほどが参加。初めて湖北野鳥センターを訪れる人もいて、いつも通り過ぎるだけで気になっていた方も多かったようです。館内に入ると、リアルタイムでモニターに映し出される琵琶湖湖畔の様子を職員さんが説明してくれました。遠隔操作で生息する水鳥たちをとらえると、遠目でしか見えない水鳥も瞬時に判別してしまうのは、さすが長年のキャリア！群れや「つがい」で行動する生態の特徴や、琵琶湖のなかでも湖北を選んで飛来してくるのはエサが豊富で環境にめぐまれているからなど、貴重なお話をたくさん伺うことができました。



羽根を広げるとこの大きさ！！

山本のおばあちゃんを発見！

館内に設置してある大きな双眼鏡をのぞくと、山本山に毎年飛来するメスのオオワシ（通称・山本のおばあちゃん）が木にとまっている姿を見ることができました。

定点カメラでも監視しているので、常にどこにいるか見ることができ、見つけたこどもたちも「いたいた！！！」と興奮気味。そんな山本のおばあちゃんも1998年の初確認以来、山本山で25年以上に渡り同じ場所まで越冬しているんだとか。自然豊かな環境を選んで毎年来てくれるのは嬉しいですね。





たかときクリスマスマーケット



木之本・富田酒造さんの入替した杉玉を
モニュメントとして活用しました！

12月6日に「第5回たかときクリスマスマーケット」を開催しました。数人の女性有志が集まって、「地域の人みんなでやったら楽しくない？」から始まりは5年。今ではこのクリスマスマーケットを楽しみに、お小遣いを握りしめ地域の外からきてくれる子ども達がたくさんいます。人と人の繋がりが生まれ、たくさんの出店者さんやマーケットを盛り上げてくれる方が年々増え、高時の一大イベントと定着してきました。



今回のクリスマスマーケットも、たくさんの美味しいものがずらりと並びました！毎年定番のメニューに加え、石道のたこやき屋さん「たこマサ」と木之本のハートのベビーカステラ「un.k」の2店舗はキッチンカーで出店。温かいサケ汁やいも天、シュトレンにホットココア・日本酒などバラエティに富んだフードで賑わいました。みなさん楽しんでいただけましたか？



地元で採れた野菜と
一切れずつ丹精込めて
焼いたサケ汁が大人気
完売御礼！



クリスマスリース作りは、毎年これを楽しみに来場してくれるファンもいるほど。自然材料を集め、無償で提供してくれるのは石道の稲垣さんご夫婦です。今回もたくさんの素材でリース作りを楽しませていただきました。



素敵な音楽ステージ

クリスマスコンサート



木之本中学校吹奏楽部の
生徒のみなさんと大谷さん



クリスマスコンサートは、地元石道出身のアーティストで「高時マイベース」を歌う宮部浩子さんとお仲間の反町進之助さん、そして小山出身のきみこさん、木之本中学校吹奏楽部のみなさんと古橋の大谷ひさ美さんによるステージで、来場者のみなさんをムードいっぱいに楽しませてくれました。15時から始まったステージは約2時間。陽が落ち始めたころには会場のクリスマスツリーも点灯し、馴染みのある音楽に多くの方が癒される時間となりました！



葉脈のリーフアート



レーザープリンターで
印字する
キーホルダー作り



伊香高校 森のワークショップ

市内で森づくりに関わる団体さんと交流した事がきっかけとなり、伊香高校・森の探究科をはじめとする1年生有志が集まりワークショップをしてくれました。木片に文字をレーザープリントするキーホルダー作りや葉脈標本に色付けするアートルーフ体験で、参加した子どもたちも制作を楽しんでいました。生徒のみなさんもこの高時の地域力を感じてくれたようで、今後も繋がりを深めていきたいです！！



反町進之助さん



宮部浩子さん



きみこさん

高時学区児童クラブ「TOKids クラブ」

長い夏休みと比べて数日間の冬休みはとても短く感じます。ただ、子どもたちにとって楽しい「お休み」には変わりありません。クリスマスお正月という2つの大きなイベントが冬休みにはありましたが、トキッズクラブでもそれぞれみんなで楽しめる企画をしました。毎年恒例になっているイベントですが、中高生にも協力してもらって、今年度も楽しい時間が過ごすことができました。

クラブ活動に積極的に中高生が関わってくれるクラブはそれほど多くはありません。私たちも遊びに来てくれる中高生の成長も小学生の成長と同じように楽しみにしています。いつか大人になった時、クラブでの毎日がそれぞれにとって「良い経験・思い出」となることを願っています。クラブの運営にご協力いただいたみなさん、ありがとうございました。

ゲームやおかし作りでクリスマスを楽しんじゃおう！

クリスマス会

12/24 (水)

★キラキラテープで会場を飾って気分を盛り上げよう！

「飾り付けをしたいんだけど、お手伝いしてくれる？」とこえをかけると「やりたーい！」と元気いっぱい返事が返ってきたので、やりたい子どもたちで会場の飾り付けをしました。普段は何もない家庭科室が、子どもたちのおかげで楽しそうな部屋に様変わり！一気にクリスマス気分が高まりました♪

★みんなで力を合わせて勝利を目指せ！

輪ゴムや新聞紙を使って、チーム対抗ゲームをしました。輪ゴムレーでは集中力、新聞ゲームでは両手を広げるとどれくらいの長さになるのかを考える推理力が勝利のカギとなりました。

★クリスマスツリーケーキを作ろう！

市販のカップケーキに生クリームなどをデコレーションして「クリスマスツリーケーキ」を作りました。生クリームをグルグルに絞るのを苦戦している子どもさんもありましたが、イチゴとチョコなどの飾りをして、かわいいケーキができました♪小皿に分けたトッピングの材料もみんなと同じ数になるように分け合う姿はいつも感心します。ずーっと見ていたくらいかわいいケーキですが、小さかったのでペロリと食べてしまいました。

12/26 (金)

HAPPY NEW YEAR!

お正月飾りをつくろう

紙コップとお花紙を使ってお正月飾りを作りました。お料理に使うピックも使ってお正月らしいすてきな飾りができました。薄いお花がみを一枚ずつ広げて花びらを作ったり、ビーズを針金に通してグルーガンで留めるなど細かい作業もありましたが、上級生や周りのお友だちにも手伝ってもらいながら仕上げることができました。

おうちの人がお迎えに来たときに、できあがった作品を「かわいいのができたね」「玄関に飾ろうね」と言ってもらった子どもたちのうれしそうな顔を見ていると、こちらもうれしくなりました♪

本がつなが

大学生との交流

1/6 (火)

夏休みに読み聞かせに来てくれた滋賀文教短期大学の学生さんが、冬休みも絵本の読み聞かせに来てくれました。今回は4グループに分かれたので、前回よりも近い距離でお話をきくことができました。

「また行っても良いですか？」と学生さん達から声をかけてもらい、本を通じて、子どもたちと学生さんとのつながりを再びもてたことを本当にうれしく思いました。

みんなに知ってもらいたい

えんがわの家

「今の子どもたちは杵でお餅をついた経験はないんじゃないかな?」「みんなでお餅つきをしたら楽しそう!」

そんな思いから、年始めのイベントとして、1月4日(日)にお餅つきをしました。今回は「お餅つき in えんがわの家」の様子をご紹介します。



↑いよいよ餅つき開始～! しんどくなったら交代するよ!

子どもたちを含む5家族と地域の人たちが集まって、総勢25名程が集まってのおもちつき。蒸し器で餅米を蒸し、蒸し上がったらいよいよ「おもちつき」が始まりました。杵は重たくて、子どもたちの力でつくことができるのか心配しましたが、ペッタンペッタンと軽快にお餅をつくことができました。大人世代でも杵で餅をつく経験は少なくなっている時代。昔は、あちこちでこのように家族や親戚の人たちが集まって、お正月用のお餅をみんなでついていたのかもしれない。「疲れた～」「交代して～」って言うかな・・・? って思っていたのですが、「楽しい! ずっとやりたい」との声もきかれました。

つき上がったお餅はみんなで丸めました。まだまだあついお餅を、両手で上手に丸めていきました。まん丸の形にするのはちょっと難しかったかもしれませんが、たくさんのまんまるおもちができました。

できたてのお餅をきな粉やおろし大根をつけて食べました。きな粉はふんわりと優しい甘さで、おろし大根はさっぱりとした味でどちらも美味しくいただくことができました。



↑いろんな大きさや形があるね

私自身、子どもの頃に親戚の人たちがたくさん集まって一日をかけてお正月用のお餅を作った記憶があります。蒸し上がる餅米の良い香りと、ペッタンペッタンと同じリズムでお餅をつく音、まだまだ熱いお餅をちぎって丸めるおばあちゃんの手はすごいなあと感じた記憶がよみがえり、懐かしく感じました。

子どもたちもおとなの人も力を合わせてできた「おもちつき」でしたが、これからは世代を問わず、たくさんの人たちが気楽に集まって楽しめる場所にしたいなと思いました。地域のみなさんも「こんなことがやってみたいな」と思うことがあれば、ぜひお声がけ下さい。



食べ終わったらみんなで坊主めくりをして遊びました♪

みんなで考えるこれからの高時の暮らし

1月28日(水)に、長浜市の荻田副市長をお迎えして「これからの超高齢化社会を豊かに迎えるために」というテーマでお話しをしていただき、私たちが暮らす高時地区の現状を知り、これから私たちや地域ができることなどを参加者全員で考える勉強会を開催しました。

今後、高齢者数が増加する中で、
全国的な課題：日頃のちょっとしたことの手助けを頼れる人がいない
長浜市の課題：介護人材がますます不足する

多様な主体によるサービス提供が不足する中で、高齢者の多様なニーズに十分に対応できていない
介護保険財政がひっ迫する可能性が高まる

というお話がありました。

そして、これらの課題に取り組むために、地域の高齢者の「ちょっとした困りごと」に対して私たちができそうなことなどを一緒に考えました。

以前実施した、住民アンケートでは「健康で安心して暮らしたい」「趣味や学びを楽しんで暮らしたい」「地域のつながりの中、楽しく暮らしたい」という③つのキーワードが見えてきました。地域づくり協議会では、これらの想いを大切に、地域のみなさんと一緒に暮らしに寄り添った活動を続けていきたいと思っています。

人口統計

H22年1月1日*	市町村合併	R8年2月1日現在
小山	35世帯 105人	35世帯 89人
石道	47世帯 130人	40世帯 81人
古橋	142世帯 481人	152世帯 377人
川合	171世帯 531人	151世帯 338人
大見	27世帯 57人	16世帯 27人

計 1,304人

912人 392人▼

(長浜市 HP より作成)

問い合わせ

高時地区地域づくり協議会
takatoki.koko@gmail.com



ホームページ
<http://takatoki.fun>



Facebook



Instagram